

# ライオン通信

<URL> <http://www.kooge.jp/> <e-mail> [info@kooge.jp](mailto:info@kooge.jp)

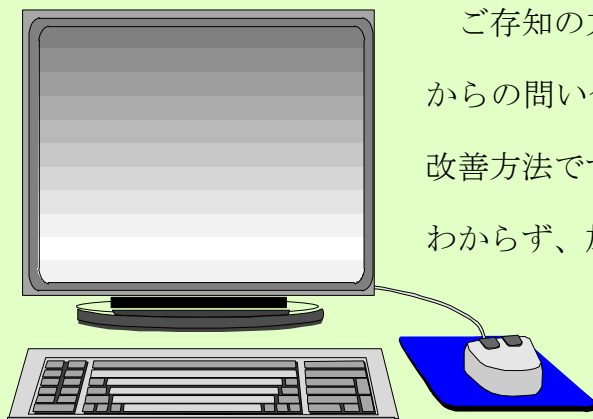
Vol.43 平成19年7月10日発行 (月刊誌)

郡家コンクリート工業株式会社  
〒680-0427 鳥取県八頭郡八頭町奥谷 206-1  
TEL(0858)72-1154 FAX(0858)72-1614

## 評価される『時間的コストの低減』

最近、土木の世界でもようやく『時間』の概念が定着しつつあると思います。

特に国土交通省大臣官房の奥平聖審議官が提唱した『ワンデーレスポンス』がその基ではないでしょうか。

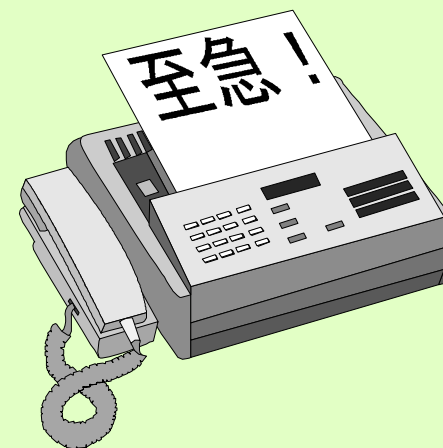


ご存知の方も多いと思いますが、ワンデーレスポンスとは「受注者である建設会社からの問い合わせに、発注者の監督員が24時間以内に必ず返答する」という業務改善方法です。奥田審議官は業界団体から「相談しても発注者からいつ返事が来るかわからず、放置されるのが一番困る」という話を聞かされ、段取りどおりに工事が進めば、無駄な待ち時間や手戻りがなくなり、建設会社の利益になると思ひ発注者が変わらなければならないと強く感じ、ワンデーレスポンスをやろうと決めたということです。

この取り組みにより確実に受注者も発注者にも良い効果が出ているそうです。

今までは『コスト削減』というと直接工事費の削減ばかりに目が行っていましたが、『時間的コストの低減』が大きな効果が得られることがわかってきたのです。時間がかかることの不都合を理解し、事業のスピードアップによる経済効果が数値化されるようになりました。

国交省の調査によると、2005年度の出先事務所のコスト削減率で、最も高かったのは中国地方整備局の境港湾・空港整備事務所で削減率は33%。



これは鳥取県と島根県を結ぶ江島大橋の開通を予定より1年半早めたことにより12億円削減できたそうです。

他にも設計VEの評価要素に「時間」を追加し事業の効果を早期に発揮できるようにしたり、他社より工期を短縮したため価格が高くても総合評価で落札できたり。コストを減らしても完成が遅くなつては意味がないことが分かってきたのです。

日経コンストラクションが発注機関に勤める読者にアンケートした結果、回答者の74%が、質の高い技術者よりも**仕事の早い技術者と一緒に仕事をした方が満足度は高い**と答えたそうです。今後、建設業界ではスピードを意識した仕事の見直しが発注者、受注者はもちろん、当社のような資材メーカーにも要求されるようになると思ひました。

参考文献：日経コンストラクション 2007 2-9



時は金なり ですね♪



# 会計検査 Q & A

今月も、『公共工事と会計検査』の安藝忠夫氏からいただいた会計検査報告から、「会計検査Q&A」をご紹介します。みなさまのご参考になれば幸いです。

## 今月の質問： 検査通知をもっと早く

当県は、前回 4 月に会計検査を受けたのに、翌年 2 月に つまり同じ年度内に 2 回検査を受けることになり、大変慌てた。また、隣の県は、昨年 11 月に突然検査を通告されてびっくりしていた。検査の実施時期については、もっと早く教えてもらえないものか？



## 回 答

従来の会計実地検査は、1 月に始まり 9 月中旬に終了し、検査報告を 11 月末～12 月上旬に提出するというパターンが長く続いていました。

しかし、「検査報告の早期提出」を国会から強く求められ、会計検査院は昨年、検査報告を今までより 1 ヶ月近く早い 11 月 9 日に提出しています。

その関係で実施検査の実施時期も相当前倒しになっており、多くの課では 11 月から実地検査に出かけるようになっていきます。つまり現在は、11 月～7 月のパターンで実地検査が行われており、会計年度とはリンクしていませんので、同年度内に 2 回ということも時々あるわけです。

また、補助金関係の検査は検査院各課に及ぶので、同じ時期に一つの府県に重複して実施検査が入ることがないように、検査院内部で事前調整を行っています。その調整がありますので、各課が必ずしも希望の時期に検査を実施できるわけではないため、一部変則的になることもあります。

会計検査院の実地検査は事前に通知しないで抜き打ち的に行うことも可能なのですが、資料をお願いしたり、説明担当者の在庁をお願いしたりするので、最低 1 ヶ月以上前には連絡をするようにしています。

さらに、いつ会計検査が入るかも知れないという牽制・予防効果によりそれぞれの担当者が普段から緊張感を持って正確で経済的な事業執行に努めてもらうことを期待していますので、あまり早く検査日程を発表するというのも難しいのではないのでしょうか？

レオちゃんの製品紹介コーナー

◆◆◆ トンネル側溝 ◆◆◆



こんにちは。ライオン通信のレオちゃんです。

ちょうど1年前にゴトウコンクリートさんの「都市型側溝 シェイプアップスリット」を紹介しました。今回その姉妹品ともいえる、**薄型円型水路 トンネル側溝**をご紹介します。近々、鳥取県日南町現場に納品予定で現在弊社で製造しているところです。

**トンネル側溝**は、トンネル内部の施工に適しており、走行空間を広げることができ、**大幅にコスト削減**のできる製品で、全国的にたくさん売れているんですよ。

ゴトウコンクリートさんのホームページ⇒ <http://www.goto-con.co.jp/>

【概要】

トンネル本体内の一部改正(H11.5.25)により**トンネル内の走行環境を向上させるために**、監視員通路を従来の高さh=1,000mm からh=250mm まで下げ、更にトンネル壁面側に500mm 寄せることになった。

これに伴い、これまで監視員通路内に埋設していた配水本管、喚起・非常用設備、照明ケーブルなどの設置スペースが狭くなった。⇒よって必要管理スペースを少しでも確保するため**薄型円形水路トンネル側溝**を開発した。



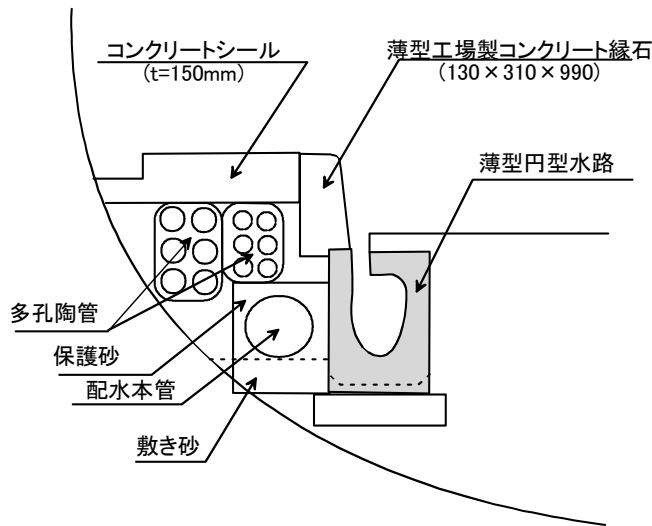
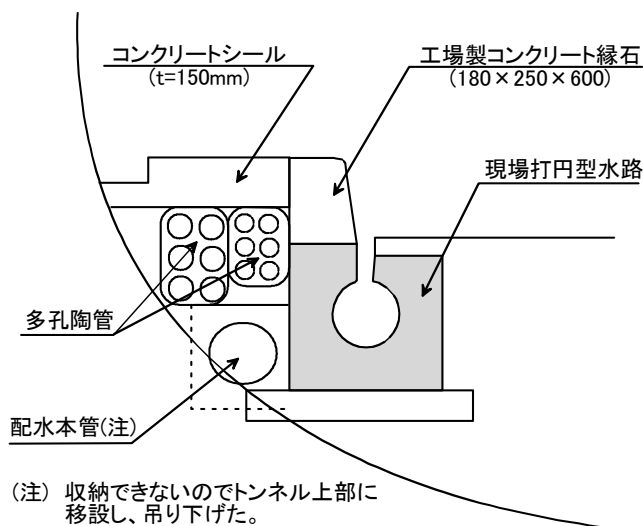
登録 No. CB-010015



トンネル側溝

現場打円型水路

薄型円型水路



【特徴】

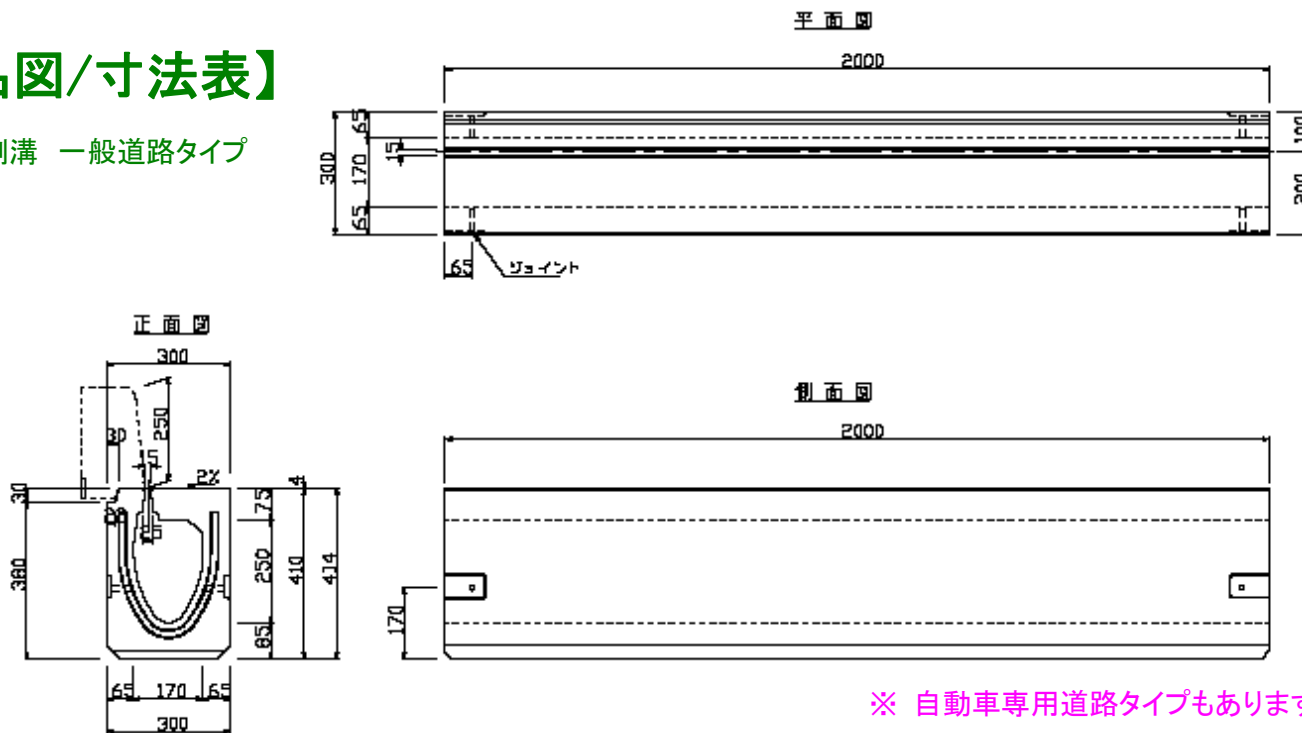
- ① 工期短縮  
現場打ち製品をコンクリート二次製品にすることによる工期の短縮。接合金具は「てこの原理」を利用したワンタッチタイプです。シールパッキンを使用していますので、目地工事は不要です。  
⇒ ⇒ **それらの結果 施工性が大幅に向上**
- ② 作業環境の改善  
工期短縮、施工性の向上により、大型建設機械が不要になるケースがあります。  
⇒ ⇒ **それらの結果 排気ガス、騒音も低減され、作業環境も改善**
- ③ 大幅なコスト削減  
スリットによる連続集水方法を採用し、高価なグレーチングが不要です。  
⇒ ⇒ **その結果 大幅なコストダウンに貢献**



ショちゃんの製品紹介コーナー

【製品図/寸法表】

トンネル側溝 一般道路タイプ

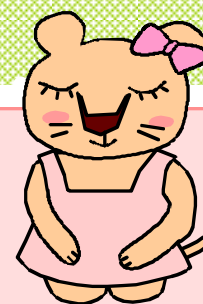


※ 自動車専用道路タイプもあります。

呼び名	寸法(mm)													参考重量 (kg)
	D	H	D0	H0	H1	H2	H3	H4	T1	T2	T3	T4	L	
TN-200-15	170	250	300	414.0	75	410	85	4.0	65	65	100	200	2000	403
TN-300-15	250	310	385	485.5	80	480	90	5.5	65	70	100	285	2000	556

近々、鳥取県日南町の納品予定現場です。トンネル内に施工されますので、現場が完成するまで皆様には見てもらえませんが(^\_^;)完成が待ち遠しいですね。

発注:鳥取県土整備局 日野総合事務所  
 元請:(株)竹中土木  
 工事名:奥日野広域農道(仮称)豊栄トンネル工事(広域)  
 場所:日野郡日南町豊栄



◆ 製品に関するお問い合わせ☆資料請求は

直通電話:0858-73-0500 までお気軽にどうぞ!

FAX : 0858-73-0535 E-mail : info@kooge.jp

◆ ◆ ◆ 編集後記 ◆ ◆ ◆

今月は『時間』というコストについてふれました。今後この要求が増すのは確実です。知恵や工夫が必要ですので難しいと思いますが、市民のためには なります。 せんえつですがコンクリート二次製品メーカーは、かなり早くからこの概念を持っていて『施工が早くできる製品』の開発をしてきました。

しかし、今までは直接工事費ばかりに目が行っていたことや、従来品と比べ歩掛りなどが変わるため発注機関から見ると使いにくい製品ということになり、日の目をみることなく『没』になった製品がたくさんありました。

当社では今後も省力化やコスト削減製品をどんどん提案して行きますので、ご検討お願いします。(山根)



<URL> <http://www.kooge.jp/>

<e-mail> [info@kooge.jp](mailto:info@kooge.jp)